

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

		整理番号		158
事業名	集会所改修補助金	予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	総務部 総務課		款	総務費・2款
電話	0799 - 43 - 5001		項	総務管理費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		目	自治振興費・12目
事業分類		法的根拠 (法令、条例、要綱等)	南あわじ市集会所等建設事業補助金交付要綱	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり_知恵あふれ_郷土愛が満ちるまちづくり__		
	まちづくりの目標	大好き_ふるさと南あわじ[郷土愛]		
	施策目標	地域コミュニティや世代間のふれあいを通じ、互いの人権を尊重し、感謝・思いやりのある人を育てる		
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 集落等の集会所を利用する市民(対象人数:平成22年3月末現在)		対象人数(人) 52,012
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 集落等が管理する集会所の新築、増築及び改修等に係る経費を補助することで、自治会集会所の管理等を円滑に行うことができ、もって当該集会所を地域コミュニティ活動の実践の場とすることにより住民相互の交流や連携、地域づくりの推進を図る。		
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 集会所建設等の補助事業を希望する自治会は、総務部総務課へ事業内容のわかる事業計画書と事業費見積書を提出する。総務課は、受理した事業計画書を 受付順整理簿に記載し、その受付の順番により団体に補助金交付申請書を提出してもらい交付決定順に事業を実施する。 なお、補助基準は次のとおり 1. 事業費100万円以上の新築・増築は、補助率を補助対象金額の1/2以内とし、限度額は1千万円とする。 2. 事業費100万円以上の改修は、補助率を実施事業費の1/3以内とし、限度額は1千万円とする。 3. 下水道接続に係る工事は、事業費100万円未満でも補助対象とし、補助率を実施事業費の1/3以内、限度額を1千万円とする。		
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 従来から地域コミュニティ活動の拠点として集落集会所等の必要性は高く、多くの自治会において設置、管理されてきた。 阪神・淡路大震災以後、阪神・淡路大震災復興基金の補助により41件(緑2・西淡22・三原11・南淡6)の新築(改築等)が実施されてきたため、今後は、改修(修繕等)の要望が主となってくるとみられる。また、下水道処理区域の拡大に伴い、下水道への加入促進上から下水道接続工事に対する経費についての支援も対象としてきた。		
	事業期間	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 (単位自治会) <input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 合併協議会での事務調整なし。			

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	年間補助事業実施件数					指標単位
							件
	指標説明 (指標算出 方法等)	事業実施件数					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標値	19	15	16	12	10	
	実績値	15	16	12			
	達成度 (%)	78.9	106.7	75.0	-	-	
	目標値設定 の考え方	前年度の実施件数					
資源配分 (インプット)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	直接事業費 (千円)	9,178	8,048	10,278	10,245	4,000	
	集会所改修等補助金	9,178	8,048	10,278	10,245	4,000	
	財 源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	9,178	8,048	10,278	10,245	4,000	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	572	446	338	329	274	
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	27.4	27.4	
	事業量1(事業に要した日数)	19	16	12	12	10	
事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1	1		
年間経費([A]+[B])	9,750	8,494	10,616	10,574	4,274		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	187.5	163.3	204.1	203.3	82.2		
経費に関する 補足説明	平成21年度には、12件のうち新築1件6,375千円があった。 平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。 平成22年度予算には、新築1件を見込んでいたが、平成23年度予算は、新築・増築の要望がないため見込んでいない。						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
達成度	目標達成度	%	78.9	106.7	75.0	-	-	
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 今年度は、目標件数の達成はできなかったものの、要望のあった全団体に補助金を交付することができた。						自己評価 (5点評価)	4
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 阪神・淡路大震災以後に新築した集会所等も建築後10年以上が経過するなど全体的に修繕を必要とする集会所等が多くなってきている。 また、下水道処理区域の拡大に伴い下水道接続工事に対する経費支援の要望も多くなってきている。これらの要望に答える制度として当該補助事業は有効である。						自己評価 (5点評価)	5
			単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
効率性	事業単価	円	187.5	163.3	204.1	203.3	82.2	
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 公共性の高い地域のコミュニティ施設を整備するにあたり、地域の自立性を発揮しながら市が補助金により支援することは、非常に効率性が高いといえる。						自己評価 (5点評価)	4
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低				
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 住民相互の交流や連携、地域づくりの推進といった地域のコミュニティ活動の中心施設としての集落等集会所の管理等を円滑に行うために、当該補助事業は必要である。 また下水道の加入推進上、まず公会堂から下水道の接続工事を実施して頂くことが大事である。						自己評価 (5点評価)	4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		地域コミュニティ内での住民相互の交流と連帯、世代間のふれあいを通じて、高齢者、障害者等全ての住民が安心して暮らせる地域づくりを推進するため、集落等集会所の役割は益々重要になってくると考えられ、そのための施設整備も不可欠になるものと考ええる。					<div data-bbox="826 1503 1390 2069" data-label="Figure"> <p>評価グラフ</p> </div>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	建替えが必要な集会所や大規模改修が必要な集会所等が多くなり、1件当たりの補助金額が高額となるケースが増加しているが、地域市民にとって地域コミュニティ活動の中心となる場所として不可欠な施設であるため、自治会から申請があれば、適宜対応していく必要がある。	同左。
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 事業を中止した場合、改築等が必要でも集落だけの財源では事業実施が困難となり、コミュニティ活動の低下に繋がり、自治会活動への影響も考えられる。 これにより、市と地域(自治会)の参画協働事業等が行えなくなる。	